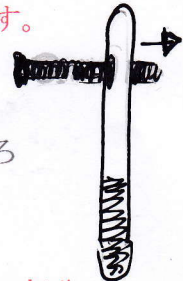


エンドピン側、(弦を取り付ける側)から弦を通して、チューニングピンに通します。チューニングピンに3回転半程巻き付くのが適当です。そして先端をラジオペンチで直角に折り曲げます。左手(人差し指)を折り曲げるとき添えると曲げやすいです。

●太い巻弦NWとPB056~022はチューニングピンから出たところ

70mm~65mmでカット先端 6mm~7mmを折り曲げる

(備考) 巻弦042、039インチは、エンドピンの穴の大きさの関係で引っかかります。張力を上げていきますと、弦が無理やりな感じで穴を通ります。



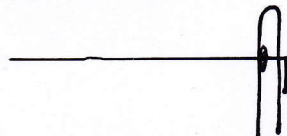
●細いストレートPL弦018~017はチューニングピンから出たところ

65mm~50mmでカット先端 5mm~6.5mmを折り曲げる

(備考) ストレートPL弦の018インチ017インチは弦の端の玉状の部分のねじり部分が出っ張っていることがあります。エンドピンの穴に通らないことがあります。ラジオペンチで押さえつけてください!



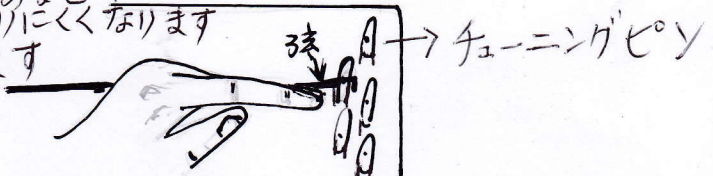
4, 弦の巻き込み→チューニングピンから出ている7cm~5cmを一旦左側に引き戻します。先端の直角曲げた部分(7mm~5mm)がチューニングピンに対して真下に来るようにします。



※弦がねじれないように点検してください。

調律ハンドルをチューニングピンに被せて回していきます。1回転2回転は気を抜けません。人差し指で弦をコントロールします。チューニングピンの直ぐそばがいいでしょう。・指サックがあるとオベリにくなります

・3回転半ぐらい巻きつきます



直角に折り曲げた7mm~5mmの上を通りながら螺旋に下に降りてきます。基本的にはきれいにぴちっと巻き付いているのが良いです。ラジオペンチで、弦の巻き具合を調べます。真琴本体を傷付けないようにあて木(割りばしでもOK)を利用します。チューニングピンを右に回しながら張力をかけていきます。指で張力を確認してみてください。

チューナーを使い、求める音(周波数)の同音ぐらい、半音までもっていきま